

令和2年度第2回「防府市農林業政策懇話会」 議事録等

■開催日時・場所

令和3年3月29日（月）午後3時から午後4時30分まで
防府市役所1号館3階南北会議室

■次第

- 1 開会
- 2 主要事業等に関する情報提供
(1) 令和3年度農林業に関する当初予算の概要について
- 3 防府市の農林業を活性化する提案等について

■配布資料

	資料名	番号
1	防府市農林業政策懇話会委員等出席者名簿	【資料1】
2	防府市農林業政策懇話会配席図	【資料2】
3	令和2年度 第1回 防府市農林業政策懇話会での意見及び提案等一覧	【資料3】
4	令和3年度防府市農林業に関する当初予算一覧	【資料4】
5	令和3年度防府市農林業に関する当初予算概要	【資料5】
6	「農林業の知と技の拠点」整備について	【資料6】
7	農道牟礼小野線整備事業の進捗状況について	【資料7】

■委員等出席者名簿

敬称略・順不同

種別	氏名	所属／品目	出欠
会長	池田 豊	市長	出席
農林業関係団体	吉武 恭紀	山口県農業協同組合防府とくち統括本部長	出席
	山本 秀生	山口県中央森林組合 組合長	出席
	藤井 伸昌	防府市農業委員会 会長	欠席
	原田 慎司	山口県農協青壮年部 副委員長	出席
流通関係団体	吉武 健志	(株)ユアーズバリュー代表取締役社長	出席
	荒瀬 正則	防府市野菜出荷組合 組合長	出席
農業関係者	岡本 拓実	(株)ファーム大道 代表取締役社長	出席
	矢部 洋子	施設野菜	出席
	吉次 英哲	果樹	出席
	柳 俊則	花き	欠席
	池田 英雄	畜産	出席
	阿部 幹恵	防府市生活改善実行グループ連絡協議会 会長	出席
公募委員	中山 博祐		出席
	蓑島 啓子		出席
事務局	熊野 博之	産業振興部 部長	
	藤井 一郎	産業振興部 部次長	
	藤井 正明	産業振興部 部次長 (兼) 農林業の知と技の拠点連携推進室 室長 (兼) 農林水産振興課 課長	
	池田 晶則	産業振興部農林漁港整備課 課長 (兼) 農林業の知と技の拠点連携推進室 室次長	
	藤本 奉文	農林業の知と技の拠点連携推進室 室次長補佐	

■会議録

1. 開 会

2. 市長挨拶

今年度2回目の懇話会の開催にあたり、御挨拶申し上げます。

委員の皆様方には、平素から本市農林業の振興に、多大なる御理解、御支援にお礼申し上げます。

先日行われた防府市議会において、令和3年度から5年間の計画期間とする新たな総合計画の承認をいただいたところ。農林業については、「農林業の知と技の拠点の形成を契機とした農林業の活性化」を重点プロジェクトに掲げ、本市農林業が持続的に発展するために必要な施策を強力に推進していくこととしている。

本日は、この総合計画の実行にあたり、皆様の御意見や思いなども参考に編成した令和3年度予算の説明をさせていただくとともに、本市農林業の発展に繋がるよう、皆様から御意見をいただきたい。

3. 委員紹介

(配布した名簿による)

4. 主要事業等に関する情報提供

(1) 令和3年度農林業に関する当初予算の概要について

- ・事務局から資料1~7にて一括説明

5. 各委員による意見

会長 | 忌憚のない御意見をいただきたい。

A委員 | 担い手の高齢化や減少により荒廃農地の増加が懸念される。新規事業として「経営継承・発展等支援事業」が始まるということで喜んでいる。経営継承が円滑に行えるよう行政の支援を期待する。

会長 | 令和3年度に「経営継承・発展等支援事業」を行う。行政が経営継承の事業をつくることで、担い手不足等の課題に取り組みやすくなった。一步踏み込んで課題に取り組んでいきたい。

B委員 | 農産物の販売で収益を上げていくためには、ブランド化が重要。農大等と連携し、プロモーションや営業活動において、実績を上げることのできる人材の育成が必要。

防府でドローンの活用等、スマート農業に取り組まれる方はおられるのか。
有害鳥獣対策の一端を担う猟友会員が高齢化しており、若い方の加入が望まれる。
竹林の荒廃が懸念されるが、活用次第では資源になるのではないか。

会長

農産物の売込みやブランド化に繋がる活動は、県やJAと一緒にやっていきたい。

ドローンの活用等のスマート農業は、農大とも一緒にやって取組を推進していきたい。

有害鳥獣対策は銃猟とワナで行っている。狩猟免許の取得経費を県で助成をしているので若い人にも周知していきたい。

山口県は全国的に見ても竹林が多い。市内では竹灰の生産やバイオマス発電所で燃料として竹を活用していると聞いているので、竹が有効な財となるよう管理や活用していきたい。

事務局

農産物のブランド化等については、農業者の方の意見を聞きながらメディア等への情報発信を進めていきたい。

スマート農業については、農業用ドローンを農業公社や大道の法人が購入し、数名が飛行技能認定を取得したと聞いている。防府でもドローンを活用した農業の取組が近いうちに見られると思う。

有害鳥獣対策は、猟友会と連携して取組んでいるが、会員の高齢化は認識しているので、その対策も検討していきたい。

C委員

華城春菊を関東に売込んだこともあるが、一時的な出荷だとコストや鮮度の面で課題が大きい。まだまだ県内での認知度が低いので、まずは地元で売込み、次の段階で県外にうって出たい。また、流通から生産量を求められる場合もあるので、生産と販売の両輪で取組んでいきたい。

D委員

小売業として地産地消の価値を伝えていきたい。また、地域の農産品の価値についてメディアを活用するとともに、売場でもきちんと伝えることで、消費者に伝わるのではないかと考えている。

E委員

農業所得の向上には農産物の売り先の確保が重要である。小野地区は店がないので、小野公民館のそばに野菜を売ることができる場所を作ってもらえないか。避難所機能をもつ新しい小野公民館のそばに直売所があれば、直売所の冷蔵庫を食料の備蓄に活用することができるのではないか。

会長

小野公民館は令和4年春に新しく完成する予定。公民館機能の強化を掲げており、小野・大道・富海はモデル的に新しい公民館の形に取り組もうとしている。公民館の体制が強化されるので、今後の公民館のあり方について地元からも意見を言って欲しい。

また、農道牟礼小野線が完成すれば周南方面に出荷しやすくなると思う。

F 委員

柑橘の栽培面積拡大のために荒れた竹林の整備が必要だが、補助対象事業の要件にあてはまらなかった。対象要件の拡大を検討して欲しい。

スマート農業に取り組みたいと思っているが、個人の農業者にとって経費面でハードルが高いので、行政の支援があればありがたい。

近年、生産者が減少している防府市ブランド「天神みかん」を守っていくため、独自で販路拡大に取り組んでいる。行政や農協にもバックアップして欲しい。

会長

竹林の整備は「森林環境譲与税」を活用した事業の要件拡大を検討している。条件があえば、ぜひ活用して欲しい。

農産物の売込みは、皆様の御意見を聞きながら、マスコミを上手く巻き込みながら、価値が広がるように仕掛けていきたい。

G 委員

竹林整備は手間と経費がかかる。「森林環境譲与税」や「やまぐち森林づくり県民税」を活用した行政の一層の支援を期待する。

会長

竹林の荒廃は課題と認識しているので、県に一層の支援を要望していきたい。

H 委員

専業農家の高齢化が進み出荷が減ってきている。6次産業化に取り組むなどして収益を確保していけたらいいと思っている。

専業農家として「ヘルシーごぼう」など、地域の特色ある商品にも力を入れていきたい。

会長

農業大学校では農産物の加工に取り組む教育も行っており、防府の農産品を活用し商品化している。新規就農者へ新しいものへのチャレンジを示すことも重要。農業大学校と農業試験場が統合し、農林業の知と技の拠点が形成される。拠点では6次産業化に取り組める施設を整備すると聞いている。防府の農産品の活用についても、県に要望していきたい。

I 委員

ウンカ被害を受けた稲作農家への支援に感謝する。大道で集落営農法人連合体を運営しているが、連合体の設立目的でもある新規就農者の育成をしっかり行っていきたい。育成の受入れ体制が整うような支援を期待する。

また、今年度からドローンを活用し効率的な防除を行う予定。

会長

地域の状況を見ながら、受入れ体制の整備を検討していきたい。

新規就農者として農大生が地元で根付いてもらえるように取り組んでいきたい。

J 委員

新規就農者をはじめとする農業者への支援していただき感謝する。

	<p>農協青壮年部では横の繋がりを大切にしている。新規就農者の支援もしっかり行っていきたい。</p> <p>多面的機能支払交付金に取り組む地域の保全会の活動を通じて同業者や地域の人との繋がりができている。他地域でも保全会の仕組みを活用して地域農業の活性化に繋げて欲しい。</p>
会長	<p>地域で保全会の取組が浸透してきていると思う。農業は地域づくりだと思う。市としても国の事業をしっかり活用して地域の農林業の活性化に繋げていきたい。</p>
K委員	<p>森林組合でもドローンを活用した測量や荷運び等について検討しているところ。</p> <p>三谷森林公園の生物多様性の保全や土砂災害防止機能、リクリエーション機能等の森林の有する多面的機能は素晴らしい。今後も林業振興に繋がるような提案を行っていきたい。</p>
会長	<p>三谷森林公園は、県下唯一の広域の生活環境保全林なので、市としてもしっかり示していきたい。</p>
L委員	<p>畜産農家は飼料の高騰に苦慮している。牧草の作付けを拡大し、畜産農家に供給していくという流れをしっかり作って欲しい。</p>
会長	<p>牧草の作付け拡大について、耕畜連携を進めるなど、現場主義で研究をしていきたい。</p>
E委員	<p>小野地区では、土地神話が根強く、農業をしない方が土地を手放さないため耕作放棄地が増えるばかりである。また、耕作環境が良好ではない場所も多く、担い手にとって十分な環境が整っているとは言えない。</p>
会長	<p>圃場整備事業が始まるので一部地域では耕作環境が整備されると思う。また、保全会の活動を通じて地域で営農環境を整えることも行って欲しい。</p>
F委員	<p>農業者の所得向上のためには、出荷できなかった農産物をいかに活用していくかが重要。農産物を加工できる施設があればありがたい。</p>
会長	<p>6次産業化について、農林業の知と技の拠点が形成されることを踏まえ、県と連携し市が支援できることを検討していきたい。</p> <p>来年度も皆様に御意見をいただきながら、農林業の振興に繋がる新しい事業も考えていきたい。今後とも、防府の農林業のためにお力添えをお願いする。</p>

閉会